

PM200 取り付け説明書

開封にあたってのご注意

- 箱から出す際は慎重に行ってください。
- 中身を取り出し、傷が付かないようにボール紙か布等を敷いてその上に静かに置いて下さい。
- 添付してある部品リストに記載された部品が損傷なく、全て揃っているかよく確かめて下さい。
- 組み立てる前に本取り付け説明書を良く確認してから、組み立てを始めて下さい。

安全にお使いいただく為の重要事項

- 実際に組み立てる前に、本取り付け説明書をよく読み、組み立ては本取り付け説明書に従い慎重に行ってください。



ご注意

組み立て、及び取付け不備等による事故について保証等は一切ございませんので、作業に際しましては、十分にご注意くださいますようお願い致します。

(少しでもわからない事や安全な取り付けに疑問が生じた場合は、専門業者にお尋ねください)

【事故損傷について】

誤った組み立て、取り付け不良、取り付け強度不足、および本来の目的以外の利用、天災等による事故等については一切の責任を負えませんのでご了承下さい。

推奨 工具

- ・電動ドリル
- ・スタッドファインダー（柱発見器）

- ・プラスドライバー

- ・レンチソケットセット

組み立て設置上のご注意



本商品のボルト、ワッシャー類などは全て確実に取付けてください。不完全な組立てはプロジェクターの落下、事故の原因となります。各パーツの取付箇所、取付方向を正確に行う為に、組立説明書をよくお読みになり、最適な場所に最適な方法で確実に取付けてください。



次のような場所には設置しないでください。プロジェクターが落下して、けがや破損の原因となります。

- ・屋外や海岸、温泉に近い場所。
- ・動力用電源配線、空調機器、防磁型ではないスピーカーに近い場所。
- ・人がぶら下がったり、寄り掛かったりするような場所。
- ・不安定な場所。
- ・振動や衝撃のある場所。



電気工事は、専門業者にご依頼ください。設置時に（芯線の露出、断線など）電源コードを傷め、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

作業スペースは十分に確保して下さい。けがや破損の原因となります。

設置場所に通っている配線、配管を確実に避けてください。火災、感電の原因となります。

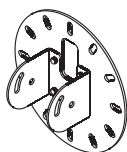
- ・本製品は、重量が15kgまでのプロジェクター設置金具としてご利用いただけます。
- ・本製品には基本的ネジ部品部品等は揃っておりますが、天井の状態により別途取り付け部品等が必要な場合は、お客様の責任のもと該当部品をご用意くださいませ。

部品リスト

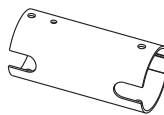
※部品番号はアルファベットになります。
末尾の数字は部品の個数となります。



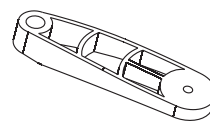
a - プロジェクターマウントプレート (1)



b - 天井プレート (1)



c - パイプ (1)



d - マウント用ブラケット (4)



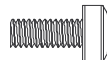
e - M3x10mm ボルト (4)



f - M3x16mm ボルト (4)



g - M4x12mm ボルト (4)



h - M5x12mm ボルト (4)



i. M4x30 ボルト...4 本



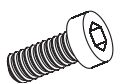
i-2. M5x30 ボルト...4 本



M4/M5 スペーサー...4 個



j - M4/M3 ワッシャー (4)



k - M6x16mm
六角ボルト (4)



l - 六角レンチ (1)



m - M6x45mm
ラグボルト (3)



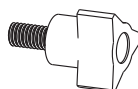
n - コンクリート
アンカー (3)



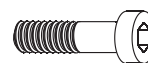
o - 大型ロングボルト (1)



p - 六角ナット (1)



q - ノブ (2)



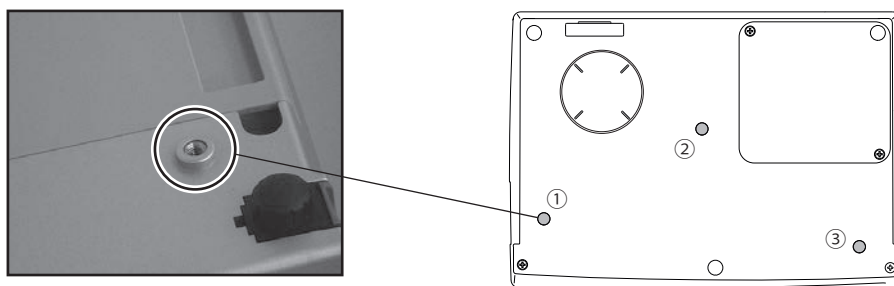
r - M6x22mm
六角ボルト (2)

※パイプ (c) は、購入した商品によって長さが異なります。本説明書では長さ調節の無いものを参考に説明を行っております。
長さ調節のあるパイプに関しても、基本的な取り付け方法は同じ方法となります。

この説明書では「EPSON ELP-30」というプロジェクターの写真を使用して説明している部分がございます。
EPSON ELP-30 では、底面（据え置き時に裏側になる面）にネジ穴が 3 点開いているタイプとなります。
お手持ちのプロジェクターのネジ穴が 4 点の場合は 4 点での組み立てを行ってください。

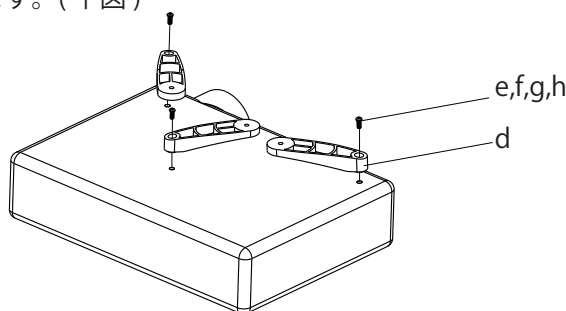
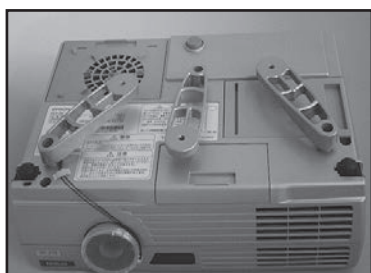
説明書内の写真を参考にしながら、お手持ちのプロジェクターの状態と見比べながら設置を進めてください。

- ① 図を参考に、マウント用ブラケットをネジ止めします。
お手持ちのプロジェクターにあるネジ穴を確認してください。



左図のようなネジ穴が計 3 点開いていました。

- ② マウント用ブラケットの位置を合わせます。（下図）



上図の写真を参考にマウント用ブラケット (d) を仮配置します。その際、裏表があるので注意してください。
※プロジェクターへは、ブラケットの厚みのある方をプロジェクターにネジで取付けます。

仮位置が決まったら、マウント用ブラケットをボルト (e,f,g,hのいずれか) でプロジェクターに仮止めをします。
その際、ボルトは適正な大きさのものを選択してください。また、M3 もしくは M4 のボルト (e,f,g) を使用する場合は、M3/M4 ワッシャー (j) を併せて使用して下さい。
プロジェクターに段差がありブラケットが固定できない場合は (i,i-2) のボルトいずれかとスペーサーを使用し段差を避けてお取付ください。
この段階で緩みやガタつきがあった場合は、設置を中止してください



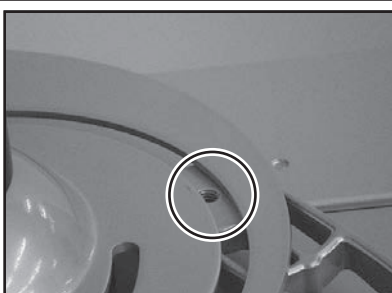
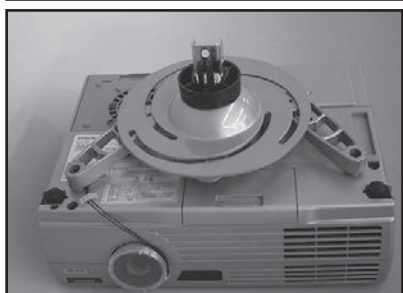
- ③ プロジェクターマウントプレートがプロジェクターの中心にくるように、マウント用ブラケットとプレートの位置を合わせます。プレートには渦巻き状にネジ穴が開いていますので、ブラケットの角度を調整しながらネジ穴を合わせます。

【ポイント】マウント用ブラケットの裏側のネジを調節することで、360° 回転させることが可能です。

※調節には別途工具をご用意下さい。

※プロジェクター本体を取り付けている場合は、プロジェクターを外して作業をする必要があります。

※工場出荷時のネジの固さは商品によって差がございますので、角度を調節する場合はご注意下さい。



左図の写真は旧版のプレートになっております。
実際は渦巻き状のネジ穴の形状や数が異なります。

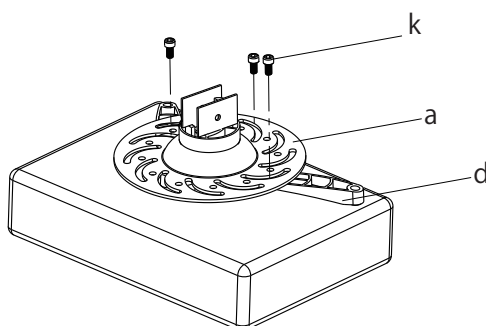
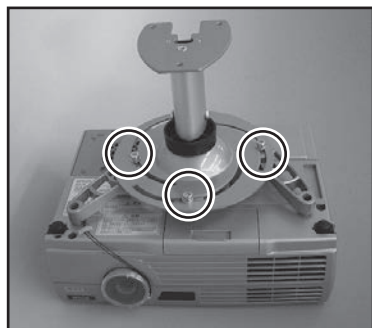
ネジ穴が合うように、ブラケットの角度を微調整してください。

- ④ 調整が終わったら、マウント用ブラケットを②で取り付けしたボルトでしっかりと締め付け、取り付けます。

ステップ2

プロジェクターマウントプレートとマウント用ブラケットの組み立て

ステップ1が④まで終わったら、下図を参考に、プロジェクターマウントプレートとマウント用ブラケットをM6x16mm ボルト (k) で取り付けます。取付けの際は、付属の六角レンチ (l) をご使用ください。



上図の写真は旧版のプレートになっております。
実際は渦巻き状のネジ穴の形状や数が異なります。

ロングパイプについて

※お買い上げいただいた商品がロングパイプの場合



パイプの側面にあるダイヤルのネジを緩めて好みの長さで締め直します。

パイプを伸ばすと、図のように2個のネジ穴が現れます。逆だった場合はネジ穴が出ないのでご注意ください。

ステップ3

天井への取り付け

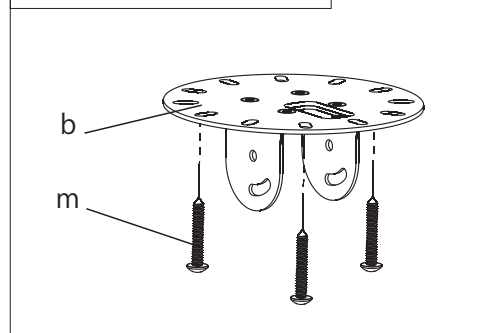
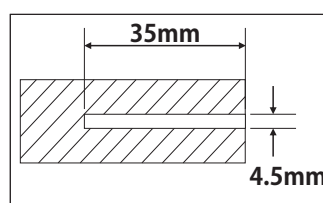
右図を参考に、天井プレート (b) を天井へ取り付けます。
天井プレートを取付け位置へ仮当てし、適切な3つのボルト取付け箇所にマジック等で印を付けます。

印を付けた取付け箇所に、ドリルを使用して下穴を開けてください。
下穴を開けたら、ラグボルト (m) を使用して天井プレートを天井へしっかりと取付けます。

※取付けの最中、うまく取付けが出来なかった場合や違和感を感じた場合は、即座に取り付けを中止してください。

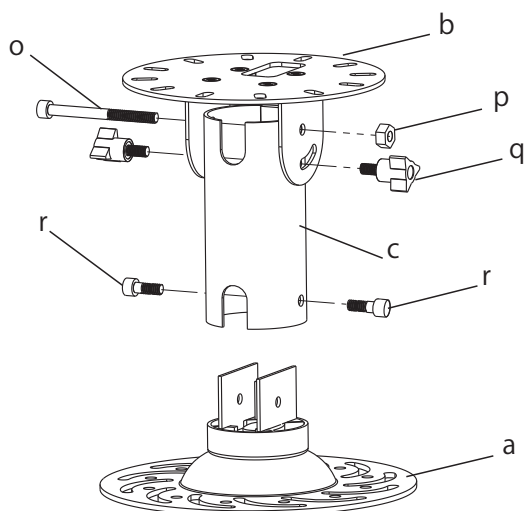
安全への留意 ※工事の不備による落下の責任は負えません

基本的に天吊りの設置は素人では大変危険な工事となりますので、専門業者等へ依頼してください。また、万が一ご自身で設置を行う場合、取付けに不備が無いよう十分注意し、建物の状態等によっては別のボルトを使用するなどし、落下の危険が無いようにしてください。



※基本的に、天井裏にある梁や柱へ取り付けを行ってください。
天井板等へのお取り付けは落下の危険性がありますので、絶対に取り付けないでください。

※コンクリートへのお取り付けの場合は大変難しい作業となりますので、コンクリートへ設置を希望する場合はお近くの専門業者にご依頼ください。

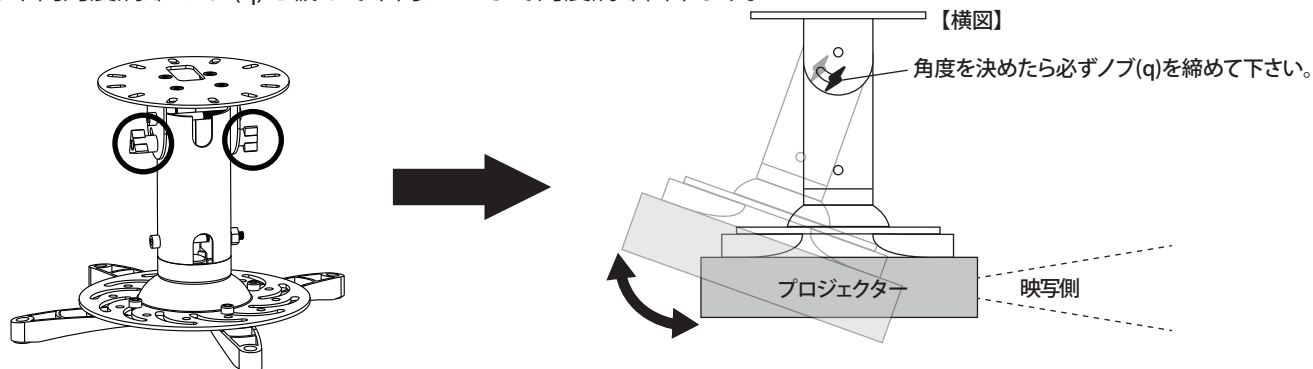


※分かりやすさの為に、プロジェクター、マウント用ブラケットはイラストに表記しておりません。

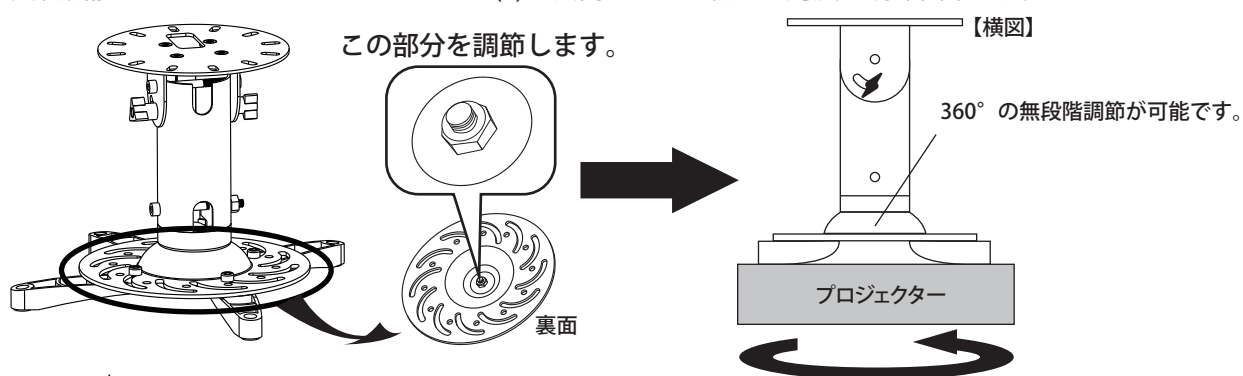
※パイプの長さをご購入の商品によって異なります。この図では長さ調節のないパイプを表記しています。

■下向角度調節、回転機能について

●下向角度調節：ノブ(q)を緩めて下向に35°まで角度調節出来ます。



●回転機能：プロジェクターマウントプレート(a)の裏側のネジを緩めて角度を調節出来ます。



⚠ 注意

- ※Bの調節はプロジェクター本体を外して作業をする必要があります。
- ※お使いのプロジェクターの重さによっては、ネジが緩み、角度がずれてくることがありますので、定期的にネジを締めて下さい。
- ※ネジを緩めずに無理やりプロジェクターや金具本体を動かさないで下さい。故障の原因になります。

最後に・・・【取付確認作業】

各取付け部分及び、ボルト、ナットの緩み、ガタがないか確認して下さい。緩みが確認できた際には、増し締めをしっかりと行って下さい。少しでもガタや、違和感があった際には取付けを中止して下さい。この【取付確認作業】は定期的（半年に1回程度）に実施し、問題の無いことを確認して下さい。